

この人に聞く

常にイノベーションにフォーカス 技術でサステナビリティ一助

モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ
グローバルマーケティングディレクター

ダイ・ブライイト博士

ビューに応じた。

去る2月20日(名古屋)

と22日(東京)に第8回

技術セミナー「ワレタン

フォーム用シリコン整

泡剤および添加剤の新商

品新技術説明会」が開催

されたが(既報)、その

講演のために来日したモ

アルズ(日本法人)モメ

ンティブ・パフォーマンス

・マテリアルズ・ジャ

パン合同会社、東京・港

区赤坂)のポリウレタン

や製品が紹介され、イン

フォーム(PUF)用添

加剤を扱う、グローバル

端を説明してもらった。

軟質のスラフでは、マ

ターのダイ・ブライイト博

士が、リサーチ・サイエ

ンス、グローバル・テク

ニ、グローバル・テク

フリエル・キス博士が同

ボックス/圧縮梱包)向 欧州でトップックとなっ

けに、復元力を得る ている。

Geocel(ジオセル)プ モメンティブは、20カ

ランドの展開を開始して 国で展開し40カ所に拠点

を持っている。自動車用のフレ ーを持ち、5000人超の

工特性を良好にする添加 剤も提供している。

ハードではPIRパネル 上の顧客を有し、売的上

は特にヨーロッパで大事 を中心に30億米ドルの規模

な用途の一つで、経時変 を誇る。

PU事業では世界で主 化での断熱性能低下を抑

制する添加剤や欧州の規 制に対応した低分子シロ

ア、ドイツのレバークー ン、中国上海の3拠点

剤、核生成特性を向上し て開発を行っており、用

途や応用の評価は群馬県 太田市、シンガポール、

インドのチェンナイ、プ ラジルのイタチバの拠点

で行っている。

ダイ・ブライイト博士は日本に ついて「技術的に一歩進

んでとても優れた国とい

う見方をしている。日本 界の市場でも勝つという

は他の国よりも高機能、 ことであり、我々にとっ

高品質が求められ、我々 重要であると捉えてい

はその要求にこたえてい る」と日本市場の重要性

を述べた。

とほ我々の成長において 大切である」と日本市場 への考えを示した。

モメンティブは1996 2年からNiaxフラン ドを展開し、常にイノベ ーションにフォーカスし ているのがサステナビ リティであり、我々の技 術がユーザーの持続可能 な発展を手助けできるよ うな製品を提供すること が大事と思っており、そ れが世界に広がっていく と考えていると述べた。

インタビュー前日に名 古屋で説明会が開かれて おり、日本の印象につい て尋ねてみると「若い研 究者とのディスカッショ ンで次の世代を担う代替 わりを感じた。日本人は 学ぶことに対して貪欲で 日本は細かいところまで こだわるというのがほか の国と違う」と「日本国 内だけではなく、日本で の技術力が海外展開をす るうえで非常に重要」と結んだ。



右からダイ・ブライイト博士、ガブリエル・キス博士、ニュー・ミン氏

右からダイ・ブライイト博士、ガブリエル・キス博士、ニュー・ミン氏